

Vol.82

院長 関の

Face to Face

2015年4月1日発行



日本人の最も多い疾患は「腰痛」だそうです。若い人であっても、労働の種類に関わらず、男女も問わず、腰痛に悩む方が多くいらっしやいます。背骨は椎骨という骨が積み重なってできています。椎骨は前に椎体、後ろに椎弓があり、まん中の空間が脊柱管です。ここには神経や血管など大切なものが沢山通っています。

# 腰痛...深刻な事態を防ごう(1)



腰痛は大きく分けて、スポーツをする若者に多い筋膜性腰痛、前屈痛、椎管閉節性腰痛、臀部への放散痛、後屈痛、高齢者の約9割が該当するという変形性脊椎症、中高年の男性に多い腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアの五種類あります。診断を受けた後の専門医の治療法としては、対

処療法や保存療法が主でそれでも緩和されない場合は手術ということになります。が、手術をしたからと言って完治するとは言えません。つまり、決定的な治る治療法はないということです。当院では血流を促したり、姿勢を矯正したり、筋肉を緩めたりすることで免疫を高めていく治療を行います。しかしながら、最も大切なことはやはり「予防」なのです。現在既に腰痛症を持っている方が将来なかなか治らない腰痛に発展しないように、次回は具体的な予防についてお話しします。

関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院・

鍼灸院 院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルの face to face 患者さん自身と向き合って患者さんの症状と闘うことを願ってつけた

毎月一日の発行です